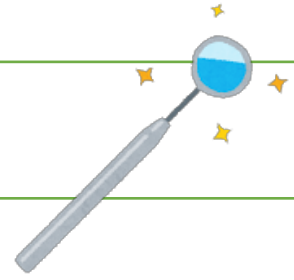




## 妊娠中の気になる歯



### 治療について

原則的に妊娠中に一般的な歯科治療を行ってはいけないという時期はありません。特に妊娠中期の5ヶ月～7ヶ月であれば、ほとんどの方が問題なく治療が行えます。むし歯、歯周炎は、必要があるなら妊娠中期に積極的に治療を行うことをおすすめします。  
※歯科医、産婦人科医によって治療の時期、進め方が異なる場合があります。担当医によくご相談の上、治療を進めてください。

### 歯科麻酔について

一般的に、歯科麻酔は局部麻酔です。通常量の使用では母子共に影響はありません。  
※歯科医から産婦人科医に麻酔の量等使用するにあたり、お伺いしてから行うことが多いようです。

### 投薬について

妊娠中の服薬が心配なのは無理もありません。しかし、歯の痛みがひどい場合、逆にお腹の赤ちゃんに悪影響を与えるため、妊娠中でも飲める薬を安全な量で投薬することがあります。痛みをがまんしながら過ごすより、妊娠中に飲める薬の正しい知識を持ち、歯科医とよく相談することが大切です。  
また、授乳中でもおなじです。歯科医や産科医、小児科医等と相談しながらお薬が飲めると安心です。。



出産後に歯が痛くならないように、  
妊娠中に歯科健診を受けておくと  
安心だよ！